

## ● ため池ハザードマップについて

このマップは、大雨や地震などにより、ため池が決壊する可能性があるなど危険な状態になった場合、みなさんの地域にため池の水が流出した場合を想定して作成したものです。

近年のゲリラ豪雨(局地的大雨)や大地震の時には特に注意をし、浸水想定区域で居住または作業を行っている方は、すみやかに2階など高いところに避難が必要です。

ため池の水は、流出してしまうと徐々に水は引きますが、ため池周辺の沢や川に継続して雨が降っている場合は完全に水が引くまで高いところに避難してください。

避難をする時には、テレビ・ラジオ等の気象情報をこまめに確認し、動きやすい服装で、足元に十分注意しながら、なるべく徒歩にて余裕を持った避難を行ってください。

## ● ため池ハザードマップの活用方法

災害は、日頃からの備えが大切です。ハザードマップを活用し、いざという時に備えましょう。

### ▶ 想定される浸水区域や深さなどをチェック

- 避難場所はどこか、そこへ安全に行くためにはどう行けばいいのかを確認しておきましょう。
- 想定される浸水区域や深さなどをチェックし、災害時の様々な事態をイメージしましょう。



### ▶ 非常食や持ち出すものを準備しておく

- 非常食には、調理の手間がかからず、水もあまり使用しないもの(レトルト食品や缶詰など)を選びましょう。
- 懐中電灯やラジオ、乾電池も忘れずに用意しておきましょう。

▼情報の詳細はこちらの項目を参考

### ● 災害への備え



### ▶ 日頃から家族や地域で話し合い

- 災害時に協力し合えるよう、家族や地域で役割を話し合しましょう。
- 特に、避難時に支援が必要な要援護者(高齢者・障がい者・幼児・傷病者)への情報伝達や補助などの気配りが必要です。



### ▶ 避難場所までの避難経路を考える

- ハザードマップを見ながら避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。
- 避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所を前もって探しておきましょう。



### ▶ 防災情報の入手先を確認

- ため池が被災すると、短時間で決壊に至る可能性があります。日頃から防災情報をどこで入手できるか確認しておきましょう。

▼情報の詳細はこちらの項目を参考

### ● 気象情報はここから



インターネットやアプリも活用しよう!

### ▶ 町で公表している他のハザードマップも活用!

- 厚真町では、台風・大雨・津波・地震を対象とした防災ハザードマップを作成しています。このマップと合わせて活用し、災害学習をさらに深めましょう。

